

○令和2度 教育事業

「女性のための登山入門」～Enjoy! アウトドアガール!～ (R2.9.27 (日))

令和2年度国立大雪青少年交流の家教育事業「女性のための登山入門」

9月27日 (日曜日)
9:30 ~ 15:30

参加費
800円
(前泊すると
2310円)

国立大雪青少年交流の家
および
周辺ルート

Enjoy!
アウトドアガール!

秋の山を
感じたい!

アウトドアを気軽に
楽しみたい!

山飯って
作ってみたい!

国立大雪青少年交流の家は、ESD（持続可能な開発のための教育）の地域活動拠点に登録しています。

独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立大雪青少年交流の家
National Taisetsu Youth Friendship Center

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

◆目的

- (1) 登山やアウトドアに興味をもつ女性向けに、初歩の登山などの体験を提供する機会を作り、登山やアウトドア活動を楽しもうとする女性の裾野を広げる機会とする。
- (2) 山の景色や「山飯」を楽しむことを通して、自然を身近に感じる。
- (3) 登山などの体を動かす機会を通し、健康増進への意識を高める。

◆参加実績 (定員20名)

参加19名

年代別内訳

20代	2名
30代	2名
40代	7名
50代	8名

地域別内訳

旭川市	9名
札幌市	3名
上川管内	5名
空知管内	1名
道外	1名

◆プログラム

① 登山のレクチャー・・・・・・ (20分)

交流の家スタッフから、登山に関する豆知識や注意事項などの説明を行った。服装や持ち物、女性ならではの視点にフォーカスを当てた説明を行い、安全面の意識の向上と、目的の意識を共有することができた。

② 望岳台登山 (交流の家～望岳台まで)・・・・・・ (270分)

携行品の貸出や装備の確認をしてから、交流の家をスタートした。途中の休憩では、植物についての説明や歩き方のコツ、休憩の取り方などの話を交え、行動食をとりながら、参加者同士の交流を図った。

③ 山飯作り (昼食)・・・・・・ (40分)

昼食では、見晴らしの良い場所を選び、コッヘルやバーナーを使って山飯作りを行った。おにぎりやチーズなど、身近な食材を使った簡単な調理を行い、身も心も温まる時間となった。また、できるだけゴミを出さない工夫や、限られた水で調理を行う視点も取り入れた。



◆事業運営・企画のポイント

- 登山入門編であることを考え、「登山」を前面に出したねらいではなく、登山における「楽しみ方（ヤマ飯）」にスポットを当て、登山の敷居を低くするようにねらいを設定した。
- 参加対象を女性に絞って行うにあたり、安心して楽しく参加できるような「女性ならではの」視点を大事にした企画を行った。（トイレの配慮、楽しみポイントの設定など）

◆参加者の声

- 今回のコースは、歩きやすく距離もちょうど良い感じだった。アップダウンがあって楽しいコースだったし、きのこや高山植物など、自然の素晴らしさを感じながら登山することができた。
- 周りには登山をしている人がいなかったため、今回の事業に参加して、共通の趣味のお友達が増えた。
- バーナーを使って調理するのは初めてだったが、温かく美味しいごはんを食べることで、いつもより元気が回復した気がする。
- 雨の降る中の登山になったが、しとしとと降る雨の中での散策もよい経験になった。



◆事業の成果と課題

- ①募集する対象者に絞った広報（地方紙への掲載・SNS・アウトドア関係店舗）が功を奏し、定員を上回る応募人数があった。広報の方法はさまざまあるので、対象に沿った広報を検討することで、コストや業務の削減にもつながる。
- ②対象を「初心者」「女性」に絞ったため、そこに寄せた事業運営をすることができた。他のレベルや対象のニーズの把握していくことで、他の登山事業にもつなげていくことができる。
- ③日帰りでの事業ですぐに登山に行かなくてはいけない時間設定だったため、参加者同士の交流の機会（自己紹介）などを積極的に図ることができなかった。登山事業ということを考え、開始時間の設定や、交流の方法の工夫が必要。

◆事業運営費	合計	58,428 円
消耗品費	・ ・ ・ ・ ・	25,540 円
広報費（広告掲載費）	・ ・ ・ ・ ・	30,800 円
通信費	・ ・ ・ ・ ・	2,088 円